

胆振の研究活動

研修部長 伊達市立伊達西小学校
校長 土井 嘉 啓

1. はじめに

胆振管内校長会は、今年度から第7期の研究をスタートさせた。第7期の研究は、第6期の研究内容を継続しているが、より研究が深まるよう視点の重点化を図った。特に、チーム胆振として課題や課題解決の方策等を共有し、それぞれの取組を進め、課題解決に向けて着実に成果を積み上げていくことを目指し、校長会が足並みを揃え、小中連携しながら取り組むことにより、学校改善を効果的に進めていくことを目指している。



2. 研究計画

(1) 活動方針

教育基本法や学習指導要領の理念と管内校長会の基本姿勢・活動方針を生かし、教育改革への課題解決と創意ある学校経営を目指す校長の在り方を求める。そのために校長会の絆を一層強めるとともに研修と実践を強化しながら、各学校が地域の期待に応え、信頼される学校づくりを推進する。

(2) 基本主題

「新たな時代を切り拓き 共に支え合い 生き抜く力の育成を目指す学校教育の推進」
～全ての児童生徒に確かな学びの力を身に付けさせるチーム胆振としての学校改善～

(3) 本年度の研究推進

- ① 新しい基本主題のもと、第7期研究計画（5か年継続研究）の1年次として、これまでの研究の成果と課題を踏まえつつ、新たな研究課題の解明に努める。
- ② 第17回胆振管内校長会教育研究大会を会員各位の理解と協力を得ながら開催し、研究を深めるとともに、その成果を各校の学校経営に反映させていく。
 - ・昨年度の研究大会（第16回研究大会）の反省をもとに、また、新たな内容、日程のもとに、より充実した研究大会になるよう改善を図る。
 - ・大会要項や集録を作成し、研究の充実と継承を図る。
 - ・分科会・分散会では「校長の責務」という視点から協議し、職能の向上を図る。
 - ・大会の意義を踏まえ、会員各位の積極的な参加を目指す。
- ③ 全連小や道小、全日中や道中、各市町校長会との連携を密にし、一貫性のある教育研究の推進を図るとともに、研究成果の還流・交流に努める。
- ④ 管内研修部長研修会を通して研究の推進と交流を図るとともに、管内教育の実態把握と情報交流に努める。

3. 研究活動

【第17回胆振管内校長会教育研究大会】

<期 日> 平成28年8月10日（水）

<会 場> 登別万世閣

<開催内容>

○基調報告 「校長同士が高め合える第7期研究と研究大会に」

○分科会

[第1分科会 教育課程]

- ・提言題 登別市における課題解決に向けた校長会の取組について
- ・提言者 神谷博達（登別市立鷺別小学校）

[第2分科会 教育課程]

- ・提言題 豊かな心と健やかな身体を育て、人間としての生き方の自覚を深める教育課程の編成・実施
- ・提言者 木村義人（むかわ町立鷲川中学校）

[第3分科会 組織・運営]

- ・提言題 経営参画意識の高揚を図り、チームとして学校改善を推進する校長の在り方
- ・提言者 柿崎幸恵（室蘭市立天沢小学校）

[第4分科会 組織・運営]

- ・提言題 伊達市における学校課題解決のための課題検討部会の取組と各種連携を活用した学校経営
- ・提言者 坂本博（伊達市立達南中学校）

[第5分科会 家庭・地域・関係機関との連携]

- ・提言題 地域素材を活用した環境教育の推進と校長の役割
- ・提言者 羽田野勝弘（苫小牧市立美園小学校）

[第6分科会 家庭・地域・関係機関との連携]

- ・提言題 評価を活かした学校改善の取組と校長の責務
- ・提言者 杉本昌史（苫小牧市立開成中学校）

○教育講演会 ・講演題 「今、求められる校長のマネジメント力」

・講師 北海道教育庁学校教育局義務教育課長 鈴木 淳 氏

4 おわりに

今年度からスタートした第7期の研究は、校長が的確な判断や決断をスムーズに行えるようチーム胆振校長会としての機能を充実させることを目指している。そのために、研究の視点を重点化し、課題や課題解決の方向性を共有しながら智恵を寄せ合い、お互いの職能向上につながる実践的な研究になるよう取組を進めているところである。

現在、胆振管内の各市町において、コミュニティ・スクールの取組や準備が進められている。コミュニティ・スクールの実施においても、校長の経営方針やビジョン等が厳しく問われることになる。誰が聞いても、誰に対しても「子どもたちのために必要である」と感じてもらえるものを提示できるための、情報収集の場、研修の場として第7期の研究を機能させていきたいと考えている。